

新年のご挨拶

―第2次ふるさと戦略プラン2年目に向けて―



平成30年・2018年の新しい年を、市民の皆さまと共に迎えられることを、心からうれしく思っています。昨年中は、市政運営に多く

のご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

私は、去る12月24日に行われました龍ヶ崎市長選挙において、市民の皆さまのご信任を賜り、龍ヶ崎市長として、3期目の市政運営を担わせていただくことになりました。改めまして、責務の重さに身が引き締まるとともに、市民の皆さまのご期待に応えるべく引き続きこの4年間も全力で挑戦していく決意を新たにしています。

さて、本年は、本市のまちづくりの基本方向を示す最上位計画である「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の2年目の年となります。「子育て環境日本一」「市民活動日本一」の取り組みに加え、「防災・減災日本一」「スポーツ健幸日本一」を新たに掲げ、4本の日本一の旗の下で、「龍ヶ崎新時代」に向けて着実かつ確実に歩みを進める年にしてまいります。

本年は、まちの活性化と認知度アップを目的とした一大プロジェクト、道の駅の2年後のオープンに向け、大きく前進する年にもなります。現在、本市の貴重な地域資源である牛久沼の利活用につきまし

て、全国各地でまちづくりの計画など多岐にわたる

活動をされている株式会社北山創造研究所（代表・北山孝雄氏）と協定を結び、牛久沼および牛久沼周辺地域を含めた将来像と、活用に向けたランドデザインを描いているところです。

このランドデザインのコンセプトを、道の駅の整備へも反映させながら、牛久沼を中心とした統一感や相乗効果を創出することで、多くの皆さまに親しまれる、龍ヶ崎の牛久沼にしかない夢のある道の駅を目指して整備を進めてまいります。

さらに、牛久沼をより魅力的なものにするため、牛久沼周辺の5市1町の首長が一堂に会し牛久沼への想いを共有した、昨年初開催の「牛久沼周辺首長会議」が、本年は新たなステージに入ります。本年から第2回以降の会議を開催し、牛久沼の魅力向上、さらには地域経済の活性化を図るため、情報共有や意見交換を行い、連携を強化してまいります。

また、この道の駅につなげるべく、本年4月に文化会館の駐車場内に龍ヶ崎市農産物等直売所「たつのこ産直市場」をオープンする予定です。安全・安心で新鮮な農産物の販売を通じ生産者と消費者が交流し、生産者の生産意欲や出荷意欲を喚起するような地産地消の拠点として、準備を進めてまいります。

本年は「スポーツ健幸元年」とも位置付け、スポーツ・運動を通じ継続できる健康づくりを推進し、生活習慣病の予防・改善や介護予防につなげ、市民の皆さまの健康寿命の延伸を図ってまいります。昨年末スタートした「タツポくん健幸マイレージ」は、無料スマートフォンアプリなどを活用し、日々のウォーキングの歩数や各健診の受診などに対してポ

イントが付与され、貯めたポイント数に応じて商品と交換することができるといいます。「健幸ウォーキングマップ」も作成しましたので、併せてご活用いただきながら、運動習慣の普及に努めてまいりますと考えています。

また、この「スポーツ健幸」の機運を盛り上げる、来年開催の「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」と、初の日本開催となる「ラグビーワールドカップ2019」、さらに2年後の「東京オリンピック・パラリンピック」と、大きなスポーツ大会が続きます。

2020年東京オリンピックの追加種目に正式決定した、注目の「スポーツクライミング」。さっそく新年早々の今月、そのスポーツクライミングの中でも気軽に達成感が味わえ、子どもから大人、高齢者まで楽しめる生涯スポーツとも言われる「ボルダリング」施設が、たつのこアリーナ内サブアリーナの一角に完成いたします。施設は2月から利用できます。ぜひ、足をお運びください。

平成30年は、私にとって新たなスタートの年となりますが、このまちが「いつまでも住み続けたい」「いつかは住んでみたい」と思ってもらえるような、そして、自慢したくなる「ふるさと龍ヶ崎」となるよう、職員と共に一丸となって市政運営に全力を尽くしてまいりますので、引き続き皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年も、よろしくお願い申し上げます。

龍ヶ崎市長 中山 一生